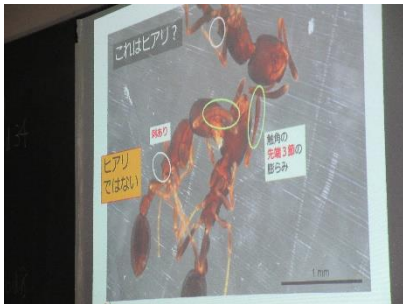


## ◆ 1 年生「SS リテラシー」向陽 S S H 特別授業 (12 月 17 日)

沖縄科学技術大学院大学 (OIST) からアリの専門家「吉村 正志(リサーチサポートリーダー)」氏を講師として招聘し、「外来生物について」というテーマで特別授業を実施しました。

日本における外来種であるヒアリを例に、外来種の定義、外来種が生態系にどのような影響を及ぼすのか、外来種とどう向き合うべきかなどを生徒たちの考えを引き出しながら進んでいく内容でした。外来種によって在来種の生息域が制限されていることや、駆除によって排除できる種、全域を侵略されている種に分けられていることなど、これまでの外来種とは異なる考え方を学ぶことが出来ました。また、アリの顕微鏡写真から、体の特徴などのヒントをもとに、ヒアリかどうかを同定する方法も学びました。そして実際に、3種のアリの標本をそれぞれ同定する作業も行い、生徒たちの知的好奇心を刺激する魅力的な授業でした。



【ヒアリの同定方法を学ぶ】



【実際にアリの種を同定した様子】



【授業の様子】

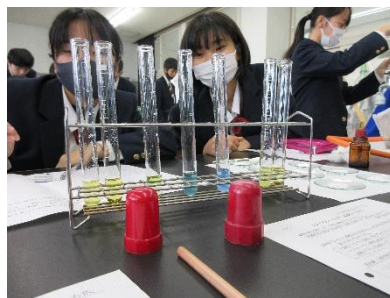
《授業の成果》今回の特別授業を通して、外来種についての知識や考え方、実際に行われている研究方法の一例を学ぶことが出来た。生徒自身が課題を見つけ、探究するために有意義だったと考える。

## ☆ 1 年理数科「S S リテラシー」地学・化学分野を実施しました。(12 月 9, 17 日)

地学分野では、地質断面図をもとに、この地域でどのような活動が起こり、この地層が出来上がったかを考え、話し合い、説明する活動を行いました。化学分野では、「白い粉の正体を調べる実験」について各グループで意見を出し合い、仮説を立て、今まで学んだ知識をもとに様々な方法で検証していました。



【地学の授業の様子】



【化学の授業の様子】

### 《生徒達の感想》

- 仮説を皆で話し合い、考える事で、注意深く観察したり、深く考えることが出来た。
- 全ての粉について結果を出すことが出来なかったが、いくつかの粉は仮説どおりの結果が出たので嬉しかった。

《授業の成果》この SS リテラシーを実施することで、仮説を立て、検証するという課題探究に必要な考え方を学ぶことができた。どちらの授業も与えられた知識を活用し、グループ討議で考察することで、課題探究に必要な「自ら課題を設定し、仮説を立て、検証する」ための学習として有意義であったと考える。